

よぼう

2020
秋号
Vol.12



複十字シール運動
キャラクター
シールぼうや



昭和38年結核検診車
「けいりん103号」

昭和33年結核検診車
「けいりん2号」

information

- 創立80周年を迎えて
～(公財)宮城県結核予防会80年のあゆみ～
- 新型コロナウイルス感染症抗体保有調査事業報告
- 公益財団法人JKA補助事業
～低線量肺がんCT検診車「みやぎ15号」完成
- 禁煙外来
- 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント
- ちゃんと手洗いできていますか?
- 予防接種外来のご案内
- 仙台市民健診(基礎健診、特定健診)のご案内
- 入国前結核スクリーニング
- 複十字シール運動
- 結核・胸部疾患等に関する無料相談のご案内
- 出前講座のご案内

発行

公益財団法人 宮城県結核予防会

〒989-3203 仙台市青葉区中山吉成2丁目3番1号 TEL.022-719-5161 FAX.022-719-5166



創立80周年を迎えて

宮城県結核予防会は令和2年8月に創立80周年を迎えました。これもひとえに、皆様のご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。今後も宮城県民の保健福祉向上のため「予防による健康社会の創出」をスローガンに「一人ひとりの健康づくりのため最善を尽くす」ことを目指し、質の高い健康増進サービスの提供、疾病予防及び早期発見・早期治療に全力で取り組んでまいります。

公益財団法人宮城県結核予防会80年のあゆみ

昭和14年(1939年)皇后陛下から賜ったご旨を奉戴し、秩父宮妃殿下を総裁に仰ぎ財団法人結核予防会が創立、翌15年8月宮城県支部が設立され、国並びに県の結核予防対策事業を開始しました。



出典：結核予防会機関誌「複十字」NO.392より

- 昭和23年 ツベルクリン・BCGを県下に斡旋開始 専任職員を採用し態勢を強化する
- 昭和27年 結核予防シール(昭和30年複十字シールと改称)募金運動開始
- 昭和29年 健康相談所落成当時の宮城県知事宮城音五郎氏の提唱により「興生館」と命名可搬型レントゲン装置を購入し、健康診断の受託を開始
- 昭和33年 結核検診車「けいりん2号」が本部から配車
- 昭和39年 気仙沼支所開設(気仙沼市)
- 昭和44年 県北支所開設(栗原市)
- 昭和52年 X線写真読影委員会設置
- 昭和53年 肺がん喀痰細胞診検査を開始
- 昭和57年 「宮城県肺がん対策協議会」を発足させ本格的な肺がん検診の受託を開始
- 平成 2年 支部創立50周年記念式典挙行
- 平成 3年 第1回「結核予防及び胸部疾病日中友好学術交流会議」開催
- 平成10年 複十字健診センター落成(支部事務局を現在地青葉区中山吉成に移転)
- 平成15年 宮城県民会館にて総裁秋篠宮妃殿下ご臨席のもと第54回結核予防全国大会開催
- 平成17年 健康相談所興生館大規模改修CT装置搭載の検診車導入
- 平成20年 特定健康診査・特定保健指導受託開始
- 平成22年 胸部X線デジタル撮影装置搭載の検診車導入
- 平成25年 公益移行認定を受け 公益財団法人宮城県結核予防会と改称
- 平成26年 広報誌「よぼう」創刊
- 平成27年 仙台市と「がん啓発及びがん検診受診率向上のための取り組みの連携」に関する協定締結
- 平成29年 宮城県と「がん啓発及びがん検診受診率向上に向けた包括的連携」に関する協定締結
- 平成30年 臨床検査精度保証施設認証を受ける
- 令和 元年 肺がんCT検診施設認証を受ける
- 令和 2年 公益財団法人JKAの補助事業により低線量肺がんCT検診車更新



健康相談所「興生館」診療待合室(創立二十年小史より)



(左)第一回結核予防シール



「けいりん2号」



マルチCT肺がん検診車



(右)奥山前仙台市長(左)当法人田中前理事長



(左)村井宮城県知事(右)当法人田中前理事長



複十字健診センター



健康相談所「興生館」

宮城県内での新型コロナウイルス感染症抗体保有調査事業に協力しました [2020.6.1~7]

厚生労働省では我が国の抗体保有状況の把握のため、東京都、大阪府、宮城県の3都府県についてそれぞれ一般住民約3,000人を対象に新型コロナウイルス感染症の抗体保有調査を実施しました。当法人では、県内の検査業務を受託し、宮城県内の8市町で採血を行いました。

※本調査の結果につきましては厚生労働省ホームページ「抗体保有調査の結果について」に掲載されています。

厚生労働省 抗体保有調査

検索



公益財団法人JKA補助事業 低線量肺がんCT検診車「みやぎ15号」完成



2019年度競輪補助事業として補助金の交付を受け製作を進めていたCT検診車「みやぎ15号」が完成しました。これにより、従来のCT撮影と比較して受診者への被ばく線量が低減され、より身体的な負担の少ない検診を提供することができます。県内各地域に巡回できるメリットを最大限に生かし、皆様の保健福祉の向上に寄与してまいります。



撮影装置

イベント会場等で、「低線量肺がんCT検診車」の展示なども検討しています。



受動喫煙防止対策強化 マナーからルールへ ~2020年4月から本格実施~

2019年7月から学校・病院・児童福祉施設等や行政機関で原則敷地内禁煙、2020年4月から飲食店やオフィス、事業所などでも原則屋内禁煙となりました。また、20歳未満の方の喫煙エリアへの立入禁止などを加えた改正健康増進法が全面施行されました。

大切な人のために 「禁煙」してみませんか? 『禁煙外来』 ~お気軽にご相談ください~

複十字健診センター
毎週火・水・金曜日
14:00~15:00
TEL.022-719-5161
(内線205)

健康相談所 興生館
毎週月・火・水・木曜日
13:00~15:00
TEL.022-221-4461
(内線107)



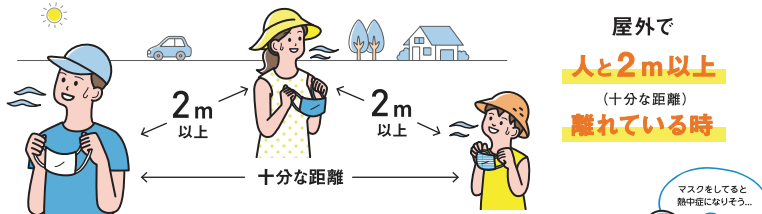
「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

身体的距離の確保・マスクの着用・手洗いや「3密(密集、密接、密閉)」を避ける等の対策を取り入れた生活様式を実践することが求められています。

ウイルス感染対策は忘れずに!



熱中症を防ぐために マスクをはずしましょう



激しい運動は避けましょう
のどが潤いていなくても
こまめに水分補給をしましょう

気温・温度が高い時は
特に注意しましょう

暑さに備えた体づくりと 日頃から体調管理をしましょう

暑さに備え、暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で適度に運動(「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度)

水分補給は忘れずに!

毎朝など、定時の体温測定と健康チェック
体調が悪い時は、無理せず自宅で静養

のどが潤いていなくても こまめに水分補給をしましょう

1日あたり 1.2L(1.2リットル)を目安に

1時間ごとに コップ1杯
入浴前後や起床後も コップ1杯
まず水分補給を

ペットボトル 500mL 2.5本
コップ約6杯

大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

エアコン使用中も こまめに換気をしましょう

(エアコンを止める必要はありません)

注意 一般的な家庭用エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、換気は行っていません

窓とドアなど2か所を開ける
扇風機や換気扇を併用する

換気後は、エアコンの温度をこまめに再設定

暑さを避けましょう

涼しい服装、日傘や帽子
少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ

新型コロナウイルス感染症に関する情報:
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
熱中症に関する詳しい情報: <https://www.wbgt.env.go.jp/>

ちゃんと手洗いでできていますか?

感染症対策の基本です!

あなたとあなたの大切な人を菌からまもるため、正しい手洗いの手順を覚えて、普段から手洗いをする習慣を身につけましょう!

石鹸と流水による手洗いの手順

- 1 手指を流水で十分にぬらし、石鹸を手のひらにとる
- 2 十分に泡立てながら、手のひらと指をすり合わせ、手の甲と指の背を洗う
- 3 指の間を洗う
- 4 全ての指をよく洗い、指先と爪を洗う
- 5 手首を洗い、流水でよく洗い流す
- 6 清潔なタオルかペーパータオルで指の間までよく拭く

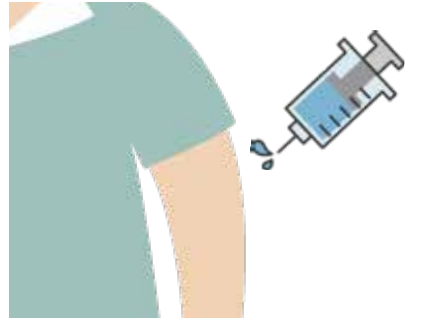
手洗いの前に、爪は短く切っておきましょう。また時計や指輪は外しておきましょう



～輸入感染症対策は渡航前の予防から～各種予防接種のご案内

海外渡航ワクチン接種【事前予約制】

近年、出張や留学などで海外へ出国される方が増加し、これに伴い滞在中の健康管理や渡航前のワクチン接種のニーズが高まっています。当法人では、複十字健診センター・健康相談所興生館で海外渡航のための予防接種を実施しております。ワクチンの種類により必要な接種回数や接種時期が異なります。予定が決まり次第、お早めにご連絡をお願いします。ご希望の方は事前にお問い合わせください。



*接種対象年齢 概ね16歳以上

取扱ワクチン

A型肝炎、B型肝炎、破傷風、狂犬病(暴露前のみ)、日本脳炎、ポリオ(不活化ワクチン)、髄膜炎菌(4価結合体)、DPT(ジフテリア・百日咳・破傷風)、おたふくかぜ、水痘(帯状疱疹予防・50歳以上)、MR(麻しん風しん混合)

その他、季節性インフルエンザの予防接種や肺炎球菌ワクチン接種も行っております。特に高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方は接種による予防をお勧めします。

風しん抗体検査・予防接種を無料で受けられます

風しんの予防接種は、現在、予防接種法に基づいて公的に行われています。しかし、公的な接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、抗体保有率が他の世代に比べて低くなっています(約80%)。

対象の方には市町村よりクーポン券が届きますので、まずクーポン券を利用して抗体検査を受けていただき、抗体検査の結果、十分な量の抗体がない方が、予防接種の対象となります。

～定期健康診断受診の際に風しん抗体検査が受けられます～

職場での定期健康診断受診時に、市区町村発行のクーポン券をお持ちいただき、風しん抗体検査を受けることができます。

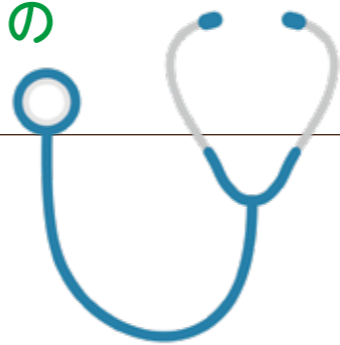
- *接種対象者/昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性
- *持ち物/クーポン券・本人確認書類(免許証、マイナンバーカード等)
- *受診期間/令和4年3月31日まで

※ご希望の方は当法人までお電話でお問い合わせください。

【複十字健診センター】 【健康相談所 興生館】
TEL:022-719-5161 TEL:022-221-4461

仙台市民健診「基礎健診」「特定健診」の予約を受け付けています

生活習慣病は自覚症状がなく気づかないうちに進行し、心筋梗塞や脳卒中を引き起こします。基礎健診・特定健診では、そんな自覚症状の出にくい生活習慣病を早期に発見できます。年に一度健診を受け、病気を予防することで、生き生きと楽しい毎を送りませんか。



基礎健診

実施期間 令和2年7月1日(水)～9月30日(水)
令和3年1月4日(月)～1月30日(土)

35～39歳	仙台市国民健康保険加入の方	2,110円
	仙台市国民健康保険加入者以外の方	3,580円
35歳以上	市民税非課税世帯の方 (同一世帯の家族全員が市民税非課税)	無料
	生活保護受給の方	
	中国残留邦人等に対する支援給付受給の方	
65～74歳	一定の障害により後期高齢者医療制度に加入の方	無料
75歳以上の方		

特定健診

実施期間 令和2年9月1日(火)～12月28日(月)
令和3年1月4日(月)～1月30日(土)

※新型コロナウイルスの影響により受診期間が変更になりました。

40～74歳	仙台市国民健康保険加入の方	無料
--------	---------------	----

受診を希望される方は、お電話にて予約をお願いします。

当日は、健康保険証、仙台市から届いた受診券が必要となります。詳しくは下記窓口へお問い合わせください。

なお、今年度の健診結果につきましては、宮城県医師会健康センターから直接郵送されます。

新型コロナウイルス感染症の影響などにより、市民健診実施日が変更になる場合がございますので、ご了承ください。

【複十字健診センター 事務室】
TEL:022-719-5161

【健康相談所 興生館】
TEL:022-221-4461

※予約お問い合わせは 9:00～12:00、13:00～16:30 をお願いいたします。
※土日の診療は行っておりませんので、ご了承ください。



「入国前結核スクリーニング」が始まります

結核は、結核菌によって発生する日本の主要な感染症の一つです。毎年新たに15,000人以上の患者が発生し、約2,000人が亡くなっています。近年日本においては外国生まれの患者数が増加傾向にあり、平成30年の新登録結核患者数のうち外国生まれの患者数は1,667人(前年比137人増)となりました。特に多数に感染させる可能性が高い若年層で増加傾向にあり、罹患率の高い国の出生者が日本滞在中に発症するケースが見受けられます。このような結核患者の発生状況に鑑みて、特に日本における結核患者数が多い国の国籍を有する方のうち日本に中長期間滞在しようとする方に対して、入国前に結核に罹患していないことを求める「入国前結核スクリーニング」が令和2年7月1日以降、準備の整った対象国から順次開始されます。

日本における外国生まれの結核患者の出生国(2018年)については、以下の6カ国で全体の8割を占めていること等を踏まえ、まずは対象国の国籍を有する方をスクリーニングの対象とします。

フィリピン、ベトナム、中国、インドネシア、ネパール、ミャンマー

参考文献:厚生労働省ホームページ「入国前結核スクリーニングの実施について」



複十字シール運動 運動期間:8月1日～12月31日

●宮城県知事表敬訪問●

令和2年度複十字シール運動にあたり、結核予防会本部では厚生労働省を、全国の支部では各都道府県知事を訪問しました。当法人では8月6日(木)に佐野副知事に、結核の現状と複十字シール運動について報告し、本運動に対するご理解と励ましの言葉をいただきました。

●結核予防週間●

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。当法人では、結核に関する正しい知識の普及啓発、結核対策への関心を高めていただくために、宮城県内の小中高等学校や官公庁などにポスターと「結核の常識」を配布しました。



2020年結核予防週間ポスター

●複十字シール運動とは●

結核や肺がん、COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの呼吸器疾患をなくし、健康で明るい社会をつくることを目的に、世界各国で行われている運動です。

治療できる病気「結核」で多くの命が失われています。
結核の現在の課題解決のために、私たちの活動にご協力ください。



結核とは 結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。

*新たに結核と診断される方の高齢化が、ますます進んでいます。
*20歳代の結核患者のうち、外国生まれの割合が増加しています。
*世界の総人口の約1/4が結核に感染しています!

今すぐチェック!

- たんがからむ咳が2週間以上続いている
- 微熱・身体のだるさが2週間以上続いている

結核の現状	宮城県	全国
新たに結核になった人	166人	15,590人
結核で亡くなった人	30人	2,204人

〔結核の統計2019〕より

募金は下記の銀行振込または郵便振替で受け付けております。

【口座名義】公益財団法人 宮城県結核予防会
【銀行口座】七十七銀行宮町支店 普通預金 5510830
【郵便振替】02270=1=405

結核・胸部疾患等に関するお悩み等、 どなたでも無料でご相談いただけます



- セキや痰が続いて心配だ
- 微熱が長引いている
- たばこを止めたいが自信がない
- COPDの治療や知識について知りたい
など、些細なことでもご相談ください。

【電話による相談】

月曜日～金曜日

15:00～16:00に下記の連絡先にお電話ください。

【面談による相談】

予約制になりますので、お電話でご予約ください。

【その他】

Eメール、FAX等でも受け付けています。

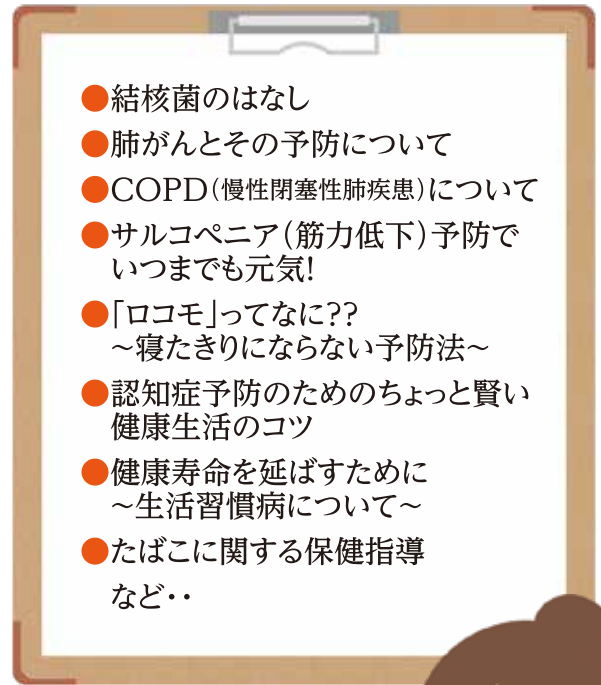
連絡先

*複十字健診センター 看護係
TEL:022-719-5161(内線205)
メール:kan@jata-miyagi.org

*健康相談所 興生館 看護係
TEL:022-221-4461(内線107)
メール:kokan@jata-miyagi.org

健康づくり 出前講座のご案内です

当法人では、市町村、事業所、団体、学校等が実施する健康づくりのための講習会等に専門のスタッフを派遣し、皆様の健康づくりのお手伝いをいたします。また、「結核」「COPD」「たばこの害」について正しく知っていただくために、普及啓発用パネルの貸出も行ってまいります。お電話またはメールにて「**総務部企画課**」までお問い合わせください。



健康教室、健康まつり、
イベントなど
是非、ご活用ください。



公益性の高い専門機関として、健康診断から治療まで
県民の皆様の健康づくりを応援します。

公益財団法人 宮城県結核予防会

〒989-3203 仙台市青葉区中山吉成2-3-1 TEL.022-719-5161 FAX.022-719-5166

複十字健診センター

〒989-3203
仙台市青葉区中山吉成2-3-1
TEL.022-719-5161(代表) FAX.022-719-5166

健康相談所 興生館

〒980-0004
仙台市青葉区宮町1-1-5
TEL.022-221-4461 FAX.022-221-4465

宮城県結核予防会

<http://www.jata-miyagi.org>



基本理念

- 「一人ひとりの健康を創り出すため
最善を尽くします」
- 一、私たちは受診者の皆様の人権を尊重し職務を遂行します
 - 一、私たちは知識の習得と技術の向上に取り組み健診の質を高めます
 - 一、私たちは誠実で正確な健診と医療を目指します

